

会 員 の 声

「エネルギー研究開発費について思う」

井 上 達 之 助\*

欧米先進諸国は、いずれも研究開発に力を入れており、総科学技術研究費の対国民所得比をみると、昭和56年度ではソ連4.82、西ドイツ3.04、米国2.68、日本2.64（日本の56年度の研究開発費総額は5兆3,640億円）となっている。（昭和58年版 科学技術白書 p.102, 105）

さて、本研究会諸兄が関心をお持ちと思われる、政府のエネルギー研究開発費に関しては、IEAの統計が発表されるので、IEA加盟諸国の政府では、エネルギーのどの分野に力を入れているかをみることができる。

下表は、1980年と1982年の主要4ヶ国のデータであるが、我が国は西ドイツを抜いてIEA諸国の中では

第2位の政府資金が使われており、その後も増加していることは、よくご承知と思う。この表で特徴的なのは米国であって、1980年はカータ政権最後の予算であり、それまでの最高額であった。しかし、1982年にはすでにレーガン政権の方針が強く反映されていることである。米国予算はその後減少し、1984年予算が最低となったが、1985年予算では増加に転じると予想されている。

ここで注目したいのは、米国政府予算の絶対額であって、例えば新エネルギー（太陽、風力、海洋、バイオマス、地熱エネルギー）の研究開発予算は、最低となった1984年においても、102M\$とIEA諸国の中では最高額の開発資金を投じていることである。

1980年、1982年の各国政府のエネルギー研究開発予算 (U. S. M\$)

項目 \ 国及び年	日 本		米 国		西ドイツ		英 国	
	1980	1982	1980	1982	1980	1982	1980	1982
省 エ ネ ル ギ ー	32.0	9.9	252.8	159.9	70.5	45.3	27.6	28.0
新 エ ネ ル ギ ー	88.8	86.8	731.2	276.4	65.7	75.6	24.7	24.7
石油、ガス、石炭、原子力	813.0	815.2	1,232.0	1,078.6	668.4	711.5	142.3	186.4
新 型 原 子 炉	335.6	382.8	1,336.0	1,101.2	185.0	350.6	211.9	182.6
そ の 他	4.5	4.5	17.8	17.0	2.5	4.2	—	—
関 連 技 術	49.1	59.3	634.6	24.5	57.8	33.8	35.7	33.5
計	1,323.2	1,358.5	4,204.8	2,649.6	1,049.9	1,220.9	441.9	455.2

Energy Research, Development and Demonstration in the IEA Countries, (1980, 1982 Review of National Programs)

\* (株)日立製作所エネルギー開発推進本部推進部長

〒101 東京都千代田区神田駿河台4-6